

音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書について

1 音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略：施策推進管理評価調書

① 「基本目標」

基本目標の内容を記載しています。

② 「施策」

施策、その内容を記載しています。

③ 「推進状況」

各重点施策の必要性及び推進状況についての評価結果を記載しています。

推進状況は、重点施策と同様に1～5点で区分しており、一番下に平均値を算出しています。

④ 「施策の推進状況の評価」

上記の推進状況の平均値により、重点項目の評価を行います。評価については、重点施策と同様に「A 順調に進んでいる」「B 概ね順調に進んでいる」「C 推進が必要」「D 更なる推進が必要」の4段階としています。

⑤ 「重点項目の推進状況」

重点項目の推進状況に対してのコメントを記載しています。

⑥ 「推進委員会評価結果」

委員会で取りまとめた評価結果を記載します。

2 音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略：施策推進管理評価調書【施策（個表）】

① 「基本目標」等

基本目標、施策を記載しています。

② 目標指標の推移

基本目標に位置づけた目標指標の実績を記載しています。

③ 事務事業の実績

施策を達成するための代表的な事務事業について、位置づけた重要業績評価指標（KPI）の実績を記載しています。

各事務事業は、重点施策と同様にその内容及び成果、事業費の実績を記載しています。評価を行う際に客観的な判断をするため、貢献度と達成度を3段階で評価しています。

④ 「施策の点検・評価」

重点施策と同様に必要性及び推進状況を5段階により評価し、評価理由を記載しています。なお、必要性については、総合戦略に位置づけた施策は、早急に推進することとしていることから、すべて5点となっています。

⑤ 「施策評価」

・ 指標の推移

目標指標の状況、その内容を記載しています。

・ 施策の課題

これまでの施策の推進状況を検証し、現況における施策の課題について記載しています。

・ 総合評価（施策の方向性）

今後の施策の方向性等について記載しています。

音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略：施策推進管理評価調書

①

③

平成27年度

| 基本目標 | 施策 ② | 施策の内容 | 27年度評価 | 担当課 | 計画書掲載頁 |
|---|----------------------|---|--------|--|----------|
| 1 本町の強みを活かした産業を振興し、雇用の場を拡充する 【雇用の場の拡充】 | (1)ゆるぎない農業経営と生産環境 | ・後継者を育成、確保するため、研修の開催や活動、交流を支援します。 ・農業労働力を確保する支援体制をより利用しやすいようにします。 | 3 | 農政課 | 43 |
| | (2)本町の強みを活かした産業の振興 | ・IC工業団地拡張への取り組みを進めます。 ・雇用の拡大が伴う企業の誘致に努めます。 ・新事業の創出を目的とした異業種間の交流や農商工親連携を進めます。 | 3 | 企画課 商工観光課 産業連携課 | |
| 2 音更の魅力で人を呼び込む、呼び戻す 【移住・定住の促進、交流の拡大】 | (1)観光による交流人口の拡大 | ・観光客の利便性向上のため、道央圏や道東圏などを結ぶ二次交通や地域内移動などの充実に努めます。 ・国際化、広域化に対応した観光客受入環境整備とサービス・企画などの充実、他地域との連携による新たな広域観光ルートの形成を進めます。 ・農畜産物や地場産品などの販売及び音更の食、農業をPRする機会を増やすため、新たに魅力を発信する拠点づくりに努めます。 ・高速道路ネットワークとのアクセス強化をはかるため、スマートインターチェンジやこれと主要幹線を結ぶアクセス路の設置を関係機関に要請します。 | 5 | 企画課 商工観光課 産業連携課 都市計画課 | 44 |
| | (2)移住や定住の促進 | ・多様化、高度化する情報通信手段に対応するため、通信基盤の整備を検討します。 ・空き地・空き家の現状を把握し、利用可能な空き地・空き家の有効活用をはかります。 ・関係機関と連携し、介護人材の育成などの支援を行うとともに、介護サービスの質の確保と安定的な介護サービスの提供に努めます。 ・豊かな自然や都市の利便性、モール温泉など、本町の魅力発信に努めます。 ・北海道移住促進協議会や十勝圏複合事務組合等と連携し、移住希望者に対する情報発信や相談会などの事業を進めます。 | 3 | 企画課 建築住宅課 | 45 |
| 3 若者が結婚し、安心して次の世代の子どもを産み育てたいという希望をかなえる 【結婚・子育て支援の充実】 | (1)結婚につながる出会いの場の創出 | ・若者の出会いの場の創出など、町内の関係機関と連携し、各種事業を進めます。 | 4 | 企画課 | 46 |
| | (2)出産と子育てを支援する環境づくり | ・子育て世帯に向け民間賃貸住宅家賃補助事業を推進し、公営住宅を補完する住宅として民間賃貸住宅の活用をはかります。 ・確かな学力をはぐむため、学習指導要領に基づき、個に応じたきめ細やかな指導を展開します。また、チーム・ティーチングや、少人数による教育を推進します。 ・安心して子育てができる環境の整備や情報の発信に努めます。 ・学童保育所の運営委託とともに計画的な受入体制と施設整備を進めます。 ・低所得者世帯に対し、各種福祉制度などによる助成や負担の軽減に努めます。 ・仕事と家庭の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及・浸透や家庭生活への男女共同参画を促進し、男女がともに働くための環境整備に努めます。 | 5 | 企画課 子ども福祉課 学校教育課 生涯学習課 建築住宅課 | 46 47 |
| 4 音更に住み続けたい、住んでみたいという環境を整備する 【安全・安心な地域づくり】 | (1)老後も不安が生じない生活環境づくり | ・市街地では、コミュニティバスの利便性の向上に努めます。 ・農村部では、スクールバスの混乗利用や他の方策も検討し、利便性の向上に努めます。 ・地域生活バス路線の確保に努めます。 ・認知症高齢者などが住み慣れた地域で暮らせるよう、地域密着型サービス基盤の整備を進めます。 ・保健・医療・福祉・介護の連携体制を充実させます。 ・地域主体の協働のまちづくりを促進するため、地域が自主的に行う環境整備活動や地域福祉活動などを支援します。 | 5 | 企画課 広報広聴課 高齢者福祉課 | 48 |
| | (2)安全・安心なまちづくりの推進 | ・地産地消や食育の視点から、関連する取り組みを進めます。 ・災害物資や防災救助品を充実させるとともに、その保管場所の整備をはかります。 ・自主的な防災活動を全町に普及させるため、自主防災組織などの育成に努めるとともに、避難行動要支援者の把握と情報提供をはかります。 ・国道241号(音更大通)の交通事故対策事業及び無電柱化事業の早期完成を関係機関に要請します。 | 5 | 企画課 広報広聴課 情報・防災課 産業連携課 都市計画課 | 49 |
| 5 十勝圏域としての魅力を高め、広域連携を推進する 【広域連携の推進】 | (1)周辺市町村との連携の推進 | ・現在進めている各分野での共同事業を円滑に進め、連携を強化します。 ・広域的な行政課題に対し、関連市町村と連携した取り組みを進めます。 | 4 | 企画課 | 50 |
| 施策の推進状況評価の平均 | | | 4.11 | ④ | |

| | | |
|------|--------------------------|---|
| 評価区分 | A 順調に進んでいる (4.50~5.00) | B |
| | B 概ね順調に進んでいる (4.00~4.49) | |
| | C 推進が必要 (3.00~3.99) | |
| | D 更なる推進が必要 (0~2.99) | |

| | | | |
|---|--|---|-------------|
| ⑤ | <p>推進状況</p> <p>平成27年度の推進状況は、「概ね順調に進んでいる」となっている。雇用の場の拡充では、農業後継者確保対策事業において、研修施設の整備、体制づくりを行った。移住・定住は、取組を強化することで総合戦略に盛り込んだが、まだ実績には至っていない。国道241号の交通混雑の解消は、国により事業化がなされた。その他の基本目標については、順調又は概ね順調に進められており、本町としての人口減少対策を進めている。</p> | ⑥ | <p>評価結果</p> |
|---|--|---|-------------|

■音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略:推進管理評価調書【施策(個表)】

① 基本目標 1 本町の強みを活かした産業を振興し、雇用の場を拡充する【雇用の場の拡充】

施策 (1)ゆるぎない農業経営と生産環境

●目標指標の推移 ②

| 区分 | 目標指標名 | 説明 | 単位 | 27年度実績 | 28年度実績 | 29年度実績 | 30年度実績 | 31年度実績 |
|----|--------|-----------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 指標 | 新規就農者数 | 5年間(H27~31)で67人 | 人 | 3 | | | | |

●事務事業の実績 ③

■重要業績評価指標(KPI)

| 区分 | 目標指標名 | 説明 | 単位 | 27年度実績 | 28年度実績 | 29年度実績 | 30年度実績 | 31年度実績 |
|----|----------|-----------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 指標 | 新規受入研修生数 | 5年間(H27~31)で10人 | 人 | 0 | | | | |

| 事務事業1 | | 単位 | 27年度実績 | 28年度実績 | 29年度実績 | 30年度実績 | 31年度実績 | 特記事項 | 担当課 |
|-------|---------------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--|-----|
| 事務事業名 | 農業後継者(新規就農者)確保対策事業 | 成果数値 | 人 | 0 | | | | 【27年度事業内容】 27年度は、28年度から始まる研修の準備期間である。主な取組内容は、新規就農希望者が集まるフェアへの参加やPR活動による研修生の募集、ビニールハウス等研修に必要な施設整備。 | 農政課 |
| 事業概要 | 新規就農等による農業後継者確保対策に必要な基礎研修の体制整備等 | 事業費実績 | 千円 | 15,000 | | | | | |
| 成果名 | 新規受入研修生数 | 評価 | 貢献度 | 3 | | | | | |

評価基準
 貢献度 3: 大きく貢献している(施策の内容に直結する事務事業) 2: 貢献している(施策を推進する事務事業) 1: 貢献していない
 達成度 3: 順調に進んでいる(80~100%) 2: 一定程度進んでいる(50%~79%) 1: 遅れがある、未着手(50%未満)

●施策の点検・評価 ④

| | 必要性 | | 推進状況 | |
|------|--|--------------------------------------|---|--|
| | 評価 | 評価理由 | 評価 | 評価理由 |
| 27年度 | 5 | 早急に推進するため総合戦略に位置づけた施策であることから、5評価とする。 | 3 | 研修生の受入施設をJA木野特産物センターに整備した。また、受入体制を構築するとともに、東京で開催された農業人フェア等に出席し、本町農業のPRを行った。これらの事業を実施したが、目標指標及びKPIが伸びていないことから、3評価とした。 |
| 28年度 | | | | |
| 29年度 | | | | |
| 30年度 | | | | |
| 31年度 | | | | |
| 評価基準 | 5: 重点及び早急に推進することが必要な施策 4: 更なる推進が必要な施策 3: 現状で推進する施策 2: 現状においては推進に時間を要する施策 1: 制度等の廃止や施策の達成により、推進の必要がない施策 | | 5: 成果の推移等から順調に進んでいる(80~100%) 4: 一定程度進んでいる(50~79%) (標準) 3: あまり進んでいない、遅れがある(20~49%) 2: 着手した程度(20%未満) 1: 未着手(0%) | |

⑤

| 施策評価 | |
|--------------|---|
| 指標の推移 | 指標の新規就農者数は、3名となっている。KPIの新規受入研修生は、27年度は、新規研修生を受け入れるための施設整備や体制の構築、本州等でのPR活動を実施したものであり、研修生の受け入れには至っていない。 |
| 施策の課題 | 現施策により推進していくが、研修生に対する様々なフォローや事業PRが必要である。 |
| 総合評価(施策の方向性) | 新規研修生を受け入れるための施設整備をはじめ、体制の構築や本州でのPR活動を行った。多くの就農希望者に音更町を知ってもらうため、事業のPRに努める必要がある。 |